

2016 年春季年会

年会プログラム

於 首都大学東京

2016 年 3 月 14 日 (月) ~ 3 月 17 日 (木)

日本天文学会

日本天文学会 2016 年春季年会プログラム

期 日 2016年3月14日(月)～3月17日(木)

場 所 首都大学東京南大沢キャンパス(東京都八王子市)

電 話 090-4387-6893 <使用期間 2016年3月14日(月)～3月17日(木)>

月日	会場	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
3月14日 (月)	A	受付					R. 銀 河	ALMA 特別セッション (G会場)		天文教育 フォーラム (G会場)		理事会
	B						P1. 星・惑星					
	C						Y. 教育・他					
	D						V2. 観測機器					
	E						N. 恒 星					
	F						L. 太陽系/S. 活動銀河核					
	G						Z2. プラズマ宇宙					
	H						K. 超新星爆発					
	I						T. 銀 河 団					
	J						ジュニアセッション					
3月15日 (火)	A	受付	R. 銀 河	昼休み (代議員総会)	ポスター		M. 太 陽	会員 全体集会 (G会場)		受賞記念講演 (G会場)		
	B		P1. 星・惑星									
	C		Y. 教育・他									
	D		V2. 観測機器									
	E		N. 恒星/W2. 高密度星									
	F		S. 活動銀河核									
	G		Z2. プラズマ宇宙									
	H		Z3. 計算惑星									
	I		Q. 星間現象									
3月16日 (水)	A	受付	M. 太 陽	昼休み	ポスター		M. 太 陽	SPICA 特別セッション (G会場)			懇親会	
	B		U. 宇 宙 論									
	C		P2. 星・惑星									
	D		V1. 観測機器									
	E		W1. 高密度星									
	F		V3. 観測機器									
	G		X. 銀河形成									
	H		Z1. T A O									
	I		Q. 星間現象									
3月17日 (木)	A	受付	M. 太 陽	ポスター	昼休み							
	B		-									
	C		P2. 星・惑星									
	D		V1. 観測機器									
	E		W1. 高密度星									
	F		V3. 観測機器									
G	X. 銀河形成											
		9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19

A会場 : 1号館 1F 101 教室
 B会場 : 1号館 1F 110 教室
 C会場 : 1号館 1F 120 教室
 D会場 : 1号館 2F 201 教室
 E会場 : 1号館 2F 210 教室
 F会場 : 1号館 2F 220 教室
 G会場 : 1号館 2F 230 教室
 H会場 : 1号館 2F 240 教室
 I会場 : 1号館 3F 301 教室

受 付 : 1号館 1F
 ポスター会場 1 : 1号館 1F 102 教室
 ポスター会場 2 : 1号館 1F 103 教室
 ポスター会場 3 : 1号館 1F 104 教室
 ポスター会場 4 : 1号館 1F 105 教室
 ポスター会場 5 : 1号館 1F 109 教室
 ポスター会場 6 : 1号館 2F 202 教室
 ポスター会場 7 : 1号館 2F 203 教室
 ポスター会場 8 : 1号館 2F 204 教室

ポスター会場 9 : 1号館 2F 205 教室
 ポスター会場 10 : 1号館 2F 206 教室
 ポスター会場 11 : 1号館 2F 208 教室
 ポスター会場 12 : 1号館 2F 209 教室
 展示コーナー : 1号館 1F
 1号館 3F 309 教室
 会 議 室 : 1号館 2F 207 教室
 懇 親 会 : ルヴェソソソヴェール
 (国際交流会館)

◎講演数

講演数：合計 669

(口頭講演 (a)：422、ポスター講演 (b)：184、ポスター講演 (c)：63)

◎参加登録について (参加者は、当日必ず参加登録をしてください。)

2011年秋季年会より、講演登録費は、講演申込時にお支払いいただく事になっています。

○参加費用

	会 員	非会員
参 加 費	3,000 円 (不課税)	5,000 円 (消費税込み)
(但し講演ありの場合、参加費は無料)		
講 演 登 録 費	3,000 円 (不課税)	10,000 円 (消費税込み) (1 講演につき)
(但し事前支払がない場合は、会員 4,000 円、非会員 11,000 円)		
年 会 予 稿 集	2,000 円 (消費税込み)	2,000 円 (消費税込み) (購入希望者のみ)

○参加登録受付場所：受付 1 号館 1F

○参加登録受付時間：3 月 14 日 11：00～16：00

3 月 15 日 09：00～16：00

3 月 16 日 09：00～16：00

3 月 17 日 09：00～13：30

※参加費は、会期中に受付にて忘れずにご納付ください。

※参加費用支払い時に渡される領収書は、再発行はできませんので、大切に保管してください。

※講演登録者は、講演申し込み後にキャンセル等しても、講演登録費の返金はいたしません。

※懇親会に参加される方は、隣の懇親会専用の受付にて懇親会の参加費をお支払いください。

◎講演に関する注意

1. 口頭発表は 9 会場で行います。口頭講演 (添字 a) は、口頭発表 9 分、質疑応答 3 分です。ポスター講演 (添字 b) は、口頭発表 3 分、3 講演で 12 分を割り当て、座長の判断で質疑応答を行います。

※時間厳守：講演制限時間を超過した場合は、直ちに降壇していただきますので、講演者の皆様は制限時間を厳守できるよう特に万全の準備をお願いします。

2. ポスター発表 (添字 b)、(添字 c) は、3 月 14 日の 12：00 から 3 月 17 日の 13：00 までポスター会場の指定された場所に掲示できます。終了後は速やかに撤去してください。ポスターサイズは縦 180 cm×横 90 cm です。
3. 講演には液晶プロジェクターをご使用ください。液晶プロジェクターは、セッション開始前に PC の接続を確認してください。講演時間は、直前の講演者が降壇した時点から計り始めます。迅速に講演が始められるよう、次の講演者は前の講演中に PC を接続しておいてください。

◎会期中の行事

月 日	時 間	会 場	行 事 名
3月14日 (月)	15:15～16:45	G会場	ALMA 特別セッション
	17:00～18:30	G会場	天文教育フォーラム
3月15日 (火)	15:45～16:45	G会場	会員全体集会
	16:45～18:15	G会場	受賞記念講演
3月16日 (水)	15:40～17:20	G会場	SPICA 特別セッション
	17:40～	ルヴェソンヴェール(国際交流会館)	懇親会

◎会合一覧表

月 日	時 間	会 場	会 合 名	一般参加可否
3月14日 (月)	18:45～19:45	会議室	理事会	D
3月15日 (火)	11:30～12:30	A会場	太陽研究者連絡会・運営委員会	D
	11:30～12:30	B会場	理論天文学宇宙物理学懇談会報告会	C
	11:30～12:30	D会場	代議員総会	D
	11:30～12:30	G会場	「あかり」データ説明会	A
	11:30～12:30	H会場	宇宙電波懇談会総会	C
	11:30～12:30	I会場	高エネルギー宇宙物理連絡会報告会	B
3月16日 (水)	11:30～12:30	A会場	太陽研究者連絡会・報告会	C
	11:30～12:30	F会場	天文・天体物理若手の会総会	C
	11:30～12:30	G会場	光学赤外線天文連絡会総会	C

※一般参加可否の説明(オープン化の程度)

- A: 誰でも大歓迎で是非来てほしい
- B: 興味を持った人には広く門戸を開いている
- C: 関係グループ向けのものだが部外者も特に拒みはしない
- D: 関係者のみにクローズした非公開の会合

◎ ALMA 特別セッション：ミリ波サブミリ波高空間分解能観測が切り拓く天文学

日 時：2016年3月14日(月) 15:15～16:45

場 所：G会場

概 要：ALMA望遠鏡の特徴は高感度に加えて、高空間分解能にあります。基線長を最大15kmまで広げた科学評価観測(Science Verification)が4つのターゲット(HL Tau、SDP.81、Juno、Mira)に対して行われ、2015年2月にデータが世界中に公開されました。特に、達成された0.03秒角の分解能で見えて来たHL Tauの原始惑星系円盤の隙間は、惑星形成研究に非常に大きなインパクトを与え、その解釈については複数の提案が出ています。また、SDP.81については重力レンズを受けた高赤方偏移銀河の詳細なリング状構造を捉えることに成功しています。本特別セッションでは、2015年4月に予定されているサイクル4観測提案公募に向け、天文コミュニティーの皆様へALMAの高空間分解能観測の性能を十分に理解して頂くため、HL TauとSDP.81のデータから得られた最新の科学的成果を紹介いたします。

プログラム：1. はじめに

2. 科学的成果

惑星形成(HL Tau)：百瀬宗武(茨城大学)

銀河形成(SDP.81)：田村陽一(東京大学)

世話人：松田有一(国立天文台)

◎天文教育フォーラム：「教科書：読む・読ませる・書く」

共催：天文教育普及研究会

日 時：2016年3月14日(月) 17:00～18:30

場 所：G会場

概 要：最新の天文学の成果とそれを産み出す知のダイナミクスを、天文学を学ぶ学生や、興味をもった一般の人々に伝えられていくためのツールは、日々多様化している。ネットメディアなど新しい媒体や動画サイト、多くの講演会、サイエンスカフェなどが市民権を得てきた現代において、知を伝え、学ぶ方法論もまた、変わってきている。そんな中、今回の天文教育フォーラムでは知識を伝え、学びとる方法論のひとつとしての「教科書」の位置づけを再考する。

ひと昔以上前に学生だった方なら既に気づいておられると思うが、ここ20年ほどの間に教科書は質・量ともに大きな変化をとげてきている。このような変化の原因は、どこにあるのだろうか。書き手は、どのような考え方の下で執筆しているのだろうか。また、読み手にとっての教科書の位置づけは、どのように変わってきているのだろうか。大学での教育内容の質的保証や、学校教育の先にある生涯教育の重要性も考慮すべき現在、「教科書」にはどんな可能性があるのだろうか。

学生を教育する上で教科書を読ませる側、書く側、企画する側からそれぞれ意見をいただき、それを元に議論を深めていきたい。

登壇予定者：真貝寿明氏(大阪工業大学)

岡村定矩氏(法政大学)

浦山毅氏(慶應義塾大学出版会)

費用：天文教育フォーラムのみの参加費は不要です。天文学会年会受付で、その旨お伝えください。

実行委員：高梨直紘、鴈野重之、谷川智康、松本直記、大山真満、木村かおる

◎ SPICA 特別セッション：新しい SPICA が目指す天文学

日 時：2016年3月16日(水) 15:40～17:20

場 所：G会場

概 要： 新たな SPICA 計画が、JAXA ミッション定義審査により承認されて計画の概要がかたまり、重要な一歩を踏み出しました。現在、2016年春に迫っている欧州宇宙機構 (ESA) Cosmic Vision のミドルクラス "M5" へのプロポーザル提出へ向けて、準備を進めています。

この機会に、新たな SPICA 計画の活動を広く日本のサイエンスコミュニティに周知し、将来的にミッションプログラム活動を担う研究者が積極的かつ能動的な貢献ができるよう、SPICA 特別セッションを開催致します。

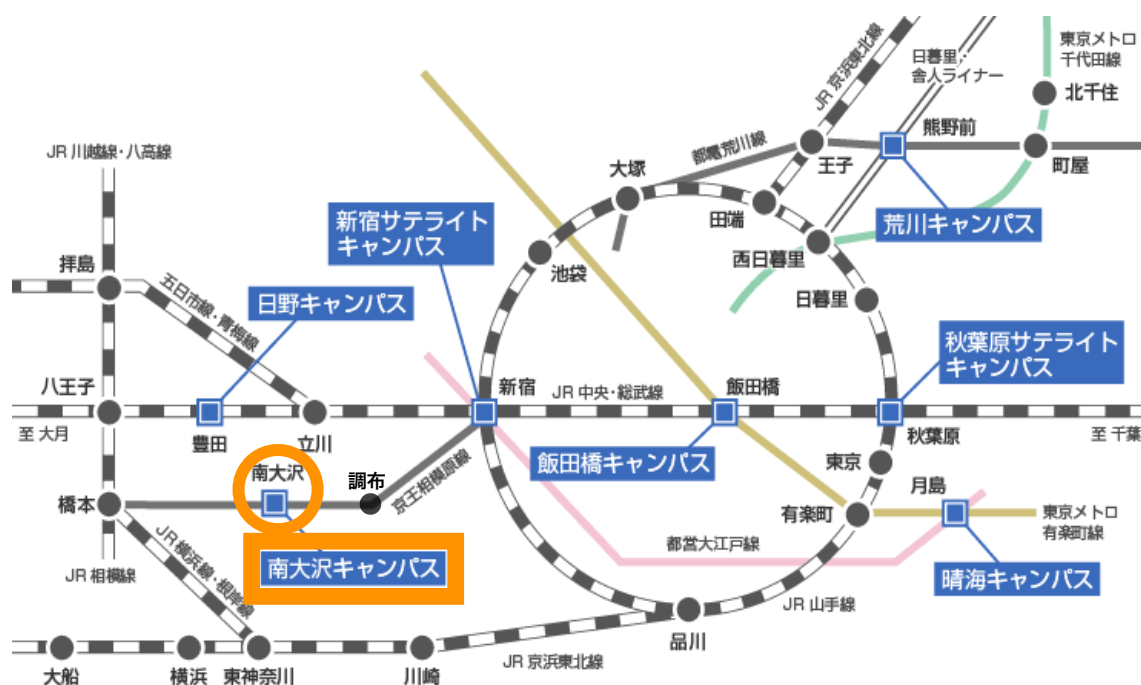
本特別セッションでは、プロジェクトの現状報告、ヨーロッパ側および日本側の観測装置の概要をレビューしたのち、SPICA 計画の機軸となるサイエンスについて紹介します。また、他のプロジェクトとのシナジーを図る事は、サイエンスの議論の深化において不可欠です。従って、本特別セッション内での総合討論の場では、特にこの点に焦点を宛て、天文学会への参加者とのコミュニケーションを図り、フィードバックを得る事を目的とします。

プログラム (講演者敬称略)：

1. 「プロジェクト現状」 芝井広 (大阪大学)
2. 「ヨーロッパ側の状況とヨーロッパ側装置について」 Peter Roelfsema (SRON)
3. 「日本側の装置の現状」 金田英宏 (名古屋大学)
4. サイエンス
 - (1) - 「SPICA による遠方銀河の観測」 江上英一 (アリゾナ大学)
 - (2) - 「SPICA による惑星形成過程と物質進化の解明」 野村英子 (東京工業大学)
5. 総合討論

世 話 人：左近樹 (東京大学)、和田武彦、浅野健太朗、櫛香奈恵 (ISAS/JAXA)

首都大学東京 南大沢キャンパス



京王相模原線「南大沢」駅には
特急・準特急・急行 を含む全ての
電車が停車します

南大沢キャンパス

所在地

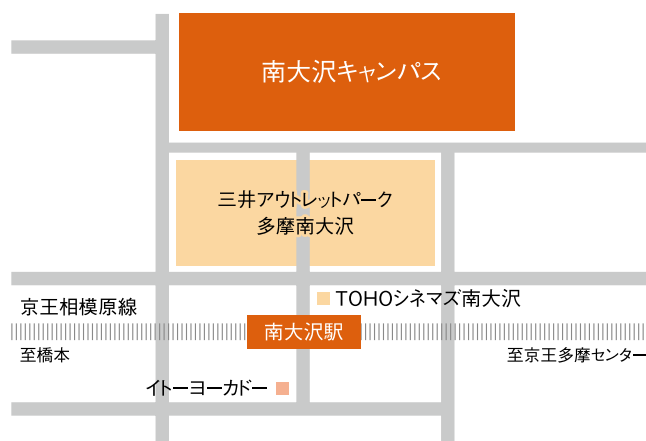
〒192-0397 東京都八王子市南大沢1-1
TEL. 042-677-1111 (代)

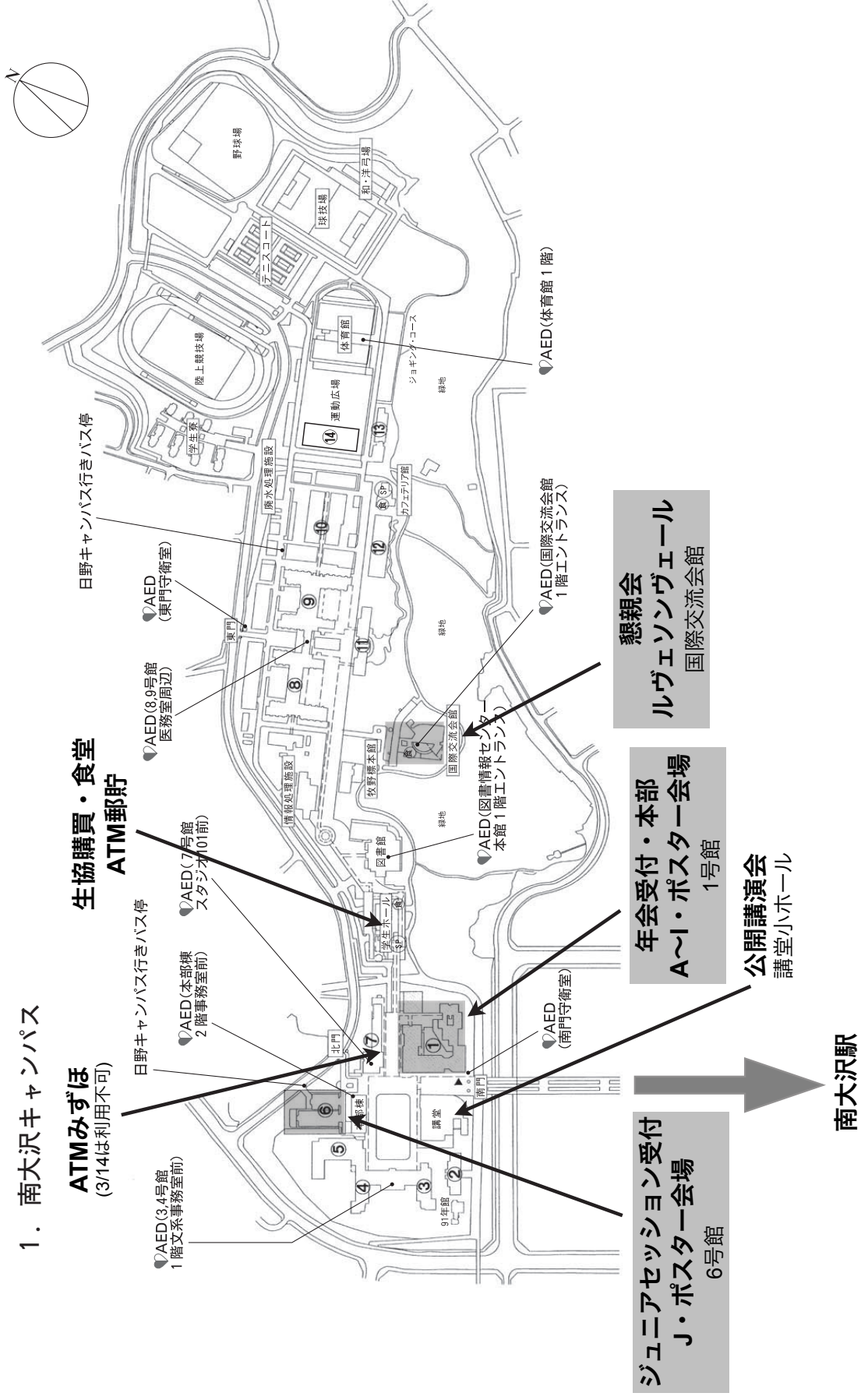
所属組織

都市教養学部、都市環境学部、人文科学研究科、
社会科学研究科、理工学研究科、都市環境科学
研究科、人間健康科学研究科、ヘルスプロモ
ーションサイエンス学域

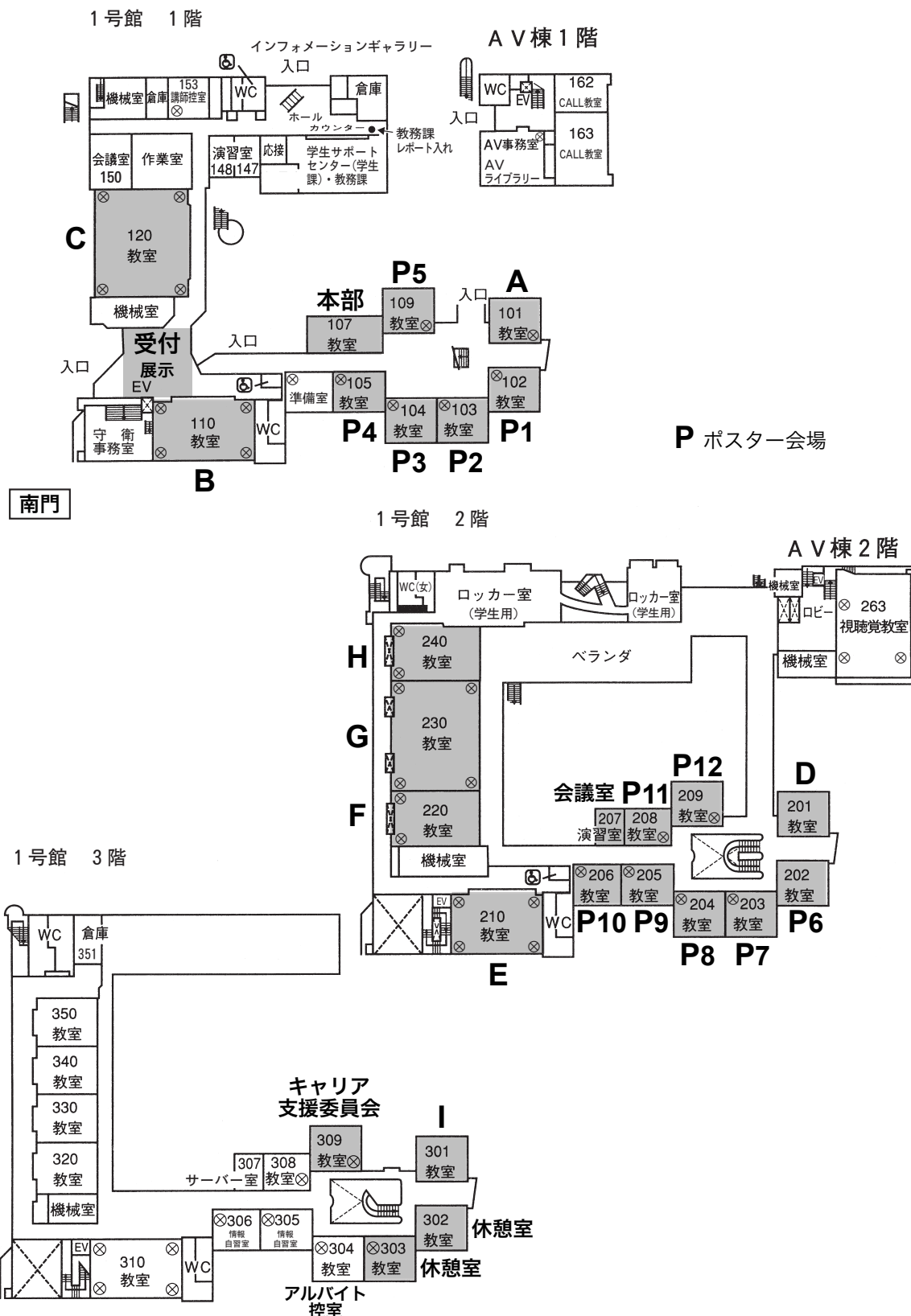
アクセス

■京王線相模原線「南大沢」駅下車
改札口から徒歩約5分
※改札口を出て右手に緑に囲まれたキャン
パスが見えます。





1. 南大沢キャンパス



6号館 ジュニアセッション

